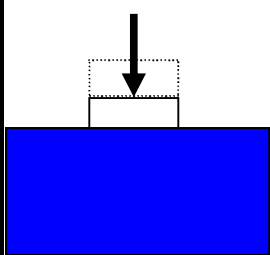


「失敗しない写真術」

失敗しない写真とは、ピントがずれていないこと（ブレを起こさないこと）、露出（光の具合）が適切であること、画面構成（構図）に無駄なものが入っていないことの3つのポイントです。これがすべての基本です。細かな設定は、この3つの応用なのです。

カメラブレを防ぐ		手ブレを防ぐには 一部を固定して安定性を保つ ストラップを応用する 呼吸法で更に止まる ブレ防止機能を使う
シャッターボタン半押し （ピントと露出の固定）		シャッターボタンを半分押すことによって、ピントと露出を固定することができる。画面の中央に合う。カメラの露出は、常にグレー色。明るいところを中央にして半押しすると、暗めに、暗いところを中央にして半押しすると、明るめに写る。
ヒストグラム （露出確認）		ヒストグラムは、露出の分布グラフ。左にずれていると暗すぎる写真。右にずれていると明るすぎる写真。このグラフを見て写真の明るさを判断する。
画面構成（構図）		画面をスッキリ撮影することは、写真を綺麗にする。主役をしっかりと入れる。無駄なものを入れない。写したいものを的確に画面に収める。
露出を変えられるもの		絞り（F値）・シャッタースピード・露出補正・ISO感度・NDフィルター・PLフィルターなど。
ホワイトバランス		白い色を白く出すための機能。色には温度があり、その影響を受ける。高い色温度では青味がかかり、低い温度では赤味がかかる。曇天、晴天、蛍光灯、白熱電球の順に青から赤色を帯びる。

写真を撮るということは、光をどうつかむかということです。その光を読んで適切に撮影することが良い写真を作り出します。構図はど真ん中から外すとバランスが良くなります。撮影のとき、少し気づかうようになってくると、写真は一段とアップします。料理と一緒に美味しいものは、手間ひまがかかり、最後に愛情が必要なのです。